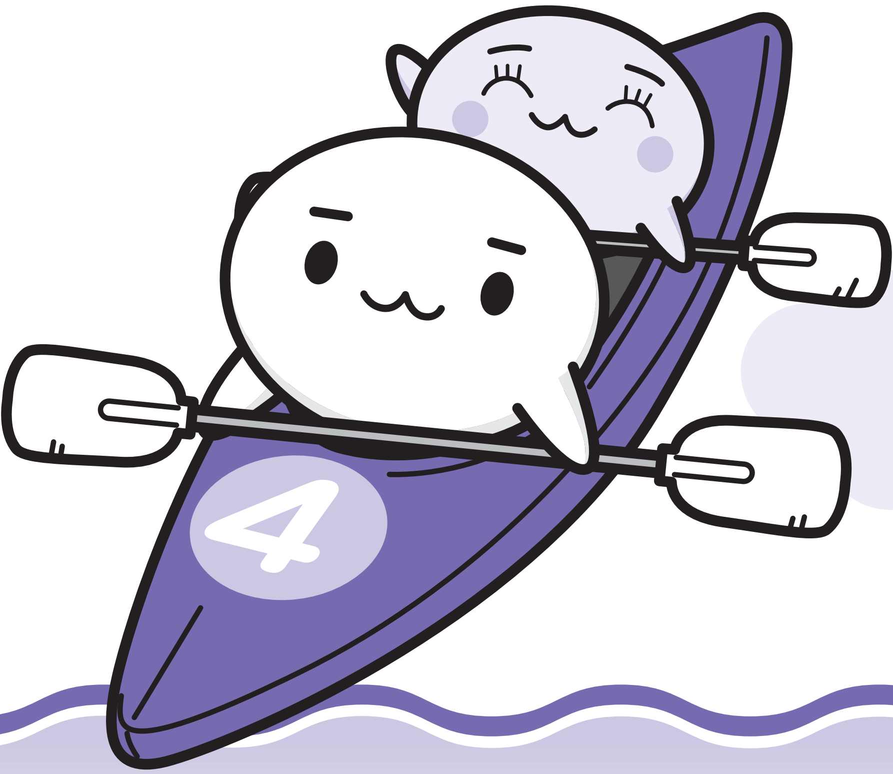
TOSHIBA
Leading Innovation

G40シリーズ

4 HD DVDを楽しもう

HD DVDの使いかた



dynabook
Qosmio

もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、付属の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。
必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書では、HD DVD-Rドライブの使いかたについて説明しています。本製品に用意されている取扱説明書と、あわせてお読みください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

1 記号の意味

注 意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊1）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊2）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「　」 他のマニュアルへの参照の場合…『　』 おたすけナビへの参照の場合…《　》 おたすけナビにはさまざまな情報が記載されています。

＊1　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊2　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

2 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムはWindows Vistaです。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows Vista

特に説明がない場合は、Windows Vista™ Home Premium を示します。

おたすけナビ

パソコン上で見ることのできる、電子マニュアルを示します。デスクトップ上の［おたすけナビ］アイコンをダブルクリックして起動します。

ドライブまたはHD DVDドライブ

HD DVD-Rドライブを示します。

参照 詳細について「3 CDやDVD、HD DVDを使う」

DVDスーパーマルチドライブモデル

DVDスーパーマルチドライブが内蔵されているモデルを示します。

3 記載について

- 記載内容によっては、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルの場合」や「＊＊＊＊シリーズのみ」などのように注記します。
- インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは付属のCD／DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書をはじめとする取扱説明書では、コントロールパネルの操作方法については、「コントロールパネルホーム」に設定していることを前提に記載しています。「クラシック表示」になっている場合は、「コントロールパネルホーム」に切り替えてから操作説明を確認してください。

参照 コントロールパネルホームとクラシック表示
《おたすけナビ - 使いこなしガイド - パソコンの設定》

4 Trademarks

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- BeatJamは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- BeatJamは、株式会社ジャストシステムの著作物であり、著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- “Labelflash™”は、ヤマハ株式会社の商標です。
- UleadおよびDVD MovieWriterはInterVideo Incorporatedの登録商標または商標です。
- おたすけナビは、株式会社東芝の商標です。
- HD DVDロゴはDVDフォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- HDMI およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

6 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

① [スタート] ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

7 お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows標準のシステムツールまたは『準備しよう』に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 内蔵ハードディスクにインストールされている、または付属のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。

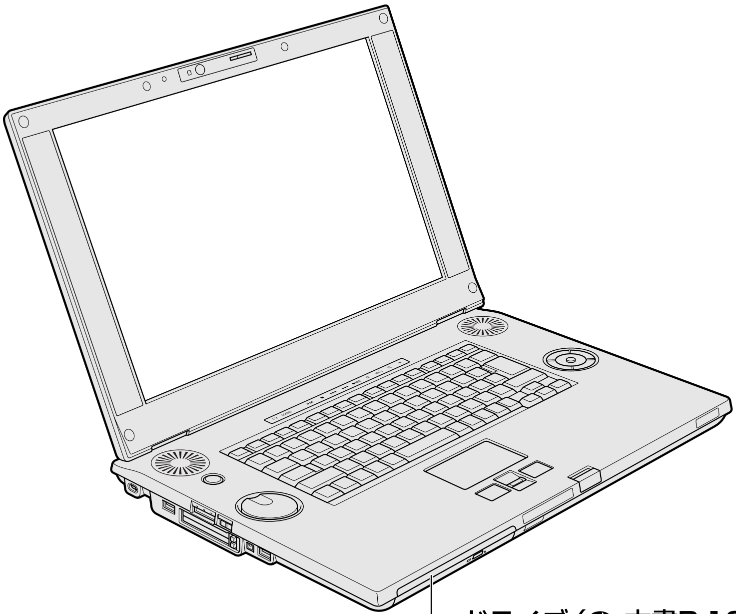
1 ご購入のモデルについて

ご購入のモデルには、HD DVD-Rドライブが1台内蔵されています。
付属のマニュアル『準備しよう』、『いろいろな機能を使おう』、『映像と音楽を楽しもう』、《おたすけナビ》は、DVDスーパーマルチドライブが内蔵されているモデルを前提に説明しています。そのため、ご購入のモデルでは仕様が一部異なる点があります。
各マニュアルで説明されている次の部分を、本書の説明に読み換えてください。

1 前面図

HD DVD-Rドライブは、パソコン本体前面に内蔵されています。

＊『いろいろな機能を使おう 1章 1-1 前面図』で説明しているドライブの外観を、次の内容に読み換えてください。



ドライブ（⊃ 本書P.10）
ドライブには、CD／DVD／HD DVDをセットします。

2 HD DVDについて

ここでは、HD DVDの特長や技術、メディアについて説明します。
また、本節に記載されていること以外にも、HD DVDに関するお知らせやHD DVDのご使用にあたっての注意制限事項などがありますので、本書「8 ご使用にあたってのお願い」をあわせてお読みください。

HD DVDとは？

DVDフォーラムが承認した次世代DVDディスクです。

HD DVDとは、世界の230社以上が加盟するDVD規格の世界標準団体「DVDフォーラム」が承認した次世代DVDディスクのことで、HD（ハイビジョン）クオリティの高画質性能を備えています。HD DVDの再生専用ディスクであるHD DVD-ROM（片面）には、片面2層30GB（ギガバイト）と片面1層15GBの2種類があります。これによって、映画1本分の映像がHD DVDディスク1枚に収めることができます。

ハリウッドの期待にも応える高画質メディアです。

映画の本場ハリウッドでは、DVDソフトの出荷が急伸し、すでにDVDの売上げが劇場公開収入を超えるほどになっています。高画質で長時間記録ができるHD DVDは、より美しく付加価値のあるパッケージコンテンツ制作を目指すハリウッドからの様々なニーズにも対応。コピープロテクションやディスク製造体制、生産コストなどの点にも確かな答えを提供することで、高い評価と支持を得ています。HDクオリティで制作された映画コンテンツなどがHD DVDパッケージで提供されることで、家庭でも映画館のスクリーンと同じように、迫力ある美しい映像を楽しむことができるようになります。

HD DVDの特長

より高画質なコンテンツを楽しむことができます。

HD DVDの特長は、大容量での高密度記録を活かした、高画質の映画やライブなどのパッケージコンテンツを楽しめることです。このdynabook Qosmio G40シリーズのHD DVDドライブモデルでは、高色純度・高輝度・高画質のClear SuperView液晶（WUXGA：1920 × 1200ピクセル）を搭載し、走査線数1125本の高精細なHD（ハイビジョン）映像を本来の解像度で表示できるので、HD DVDが再現するリアルで臨場感あふれる映像エンターテイメントを体感できます。

現行DVDが再生できるHD DVDドライブだから、お手持ちのDVD、CDライブラリを楽しむこともできます。

HD DVDと現行DVDが同じディスク構造であるという特長は、再生機器においても互換性という大きなメリットを発揮します。読み取り用レーザー光の照射距離が同じであるため、青色レーザー／赤色レーザーを切り換えるだけで、HD DVDと現行DVDのどちらも再生することができます。これにより、録りためたDVDライブラリやDVDソフト、さらには音楽CDも、HD DVDドライブで再生して楽しむことができます。

HD DVDはハイビジョン画質での再生に対応するだけでなく、再生中に操作メニューやチャプター画面を表示することができます。＊1

＊1 操作メニューやチャプター画面を表示しながら、HD DVDを再生すると、画像がコマ落ちするおそれがあります。
また、使用するHD DVDビデオディスクのタイトルによっても、画像がコマ落ちする場合があります。

下記に示す仕様・機能については、HD DVD規格で実現される可能性がある仕様・機能を示すもので、これらの仕様・機能は、dynabook Qosmio G40シリーズのHD DVDドライブモデルではご使用になれない場合があります。
また、HD DVDのソフト側で対応している必要があります。詳細についてはそれぞれHD DVDソフトのカタログなどをご覧ください。
あらかじめご了承願います。

- **HD DVD本編再生中に別のサブ映像を重ねて表示する**
  映画の本編再生中に監督や俳優の解説、メイキング映像や予告編などの特典映像を見ることができます。
- **インタラクティブ（双方向性）機能を使って、オンラインでショッピング**
  インターネットと接続して、映像や音楽の関連商品を購入できます。
- **ゲームを楽しむ**

HD DVDの技術

HD DVDには、DVDで培った技術が活かされています。

安定した品質と供給によって市場で高い評価を得ているDVDの進化形にあたるHD DVDは、ディスク構造も現行DVDと同じ直径12cm、厚さ0.6mmの基板の2枚はり合わせ構造。これまでDVDで培ってきた様々な技術がディスク製造やハード機器製造の面でも活かされており、高い互換性を生み出しています。

現行のDVD-ROMとHD DVD-ROMの規格比較

	DVD-ROM（再生専用）	HD DVD-ROM（再生専用）
ディスク直径	12cm	12cm
ディスク構造	0.6mm×2枚	0.6mm×2枚
容量（片面1層） （片面2層）	4.7GB 8.5GB	15GB 30GB
再生時間＊1	4.7GB、SD解像度：132分 8.5GB、SD解像度：238分	15GB、HD解像度：約4時間 30GB、HD解像度：約8時間
レーザー波長	650nm（赤色レーザー）	405nm（青色レーザー）
転送レート＊2	11.08Mbps	36.55Mbps

＊1 収録時間は適用されるデータ転送速度により異なります。
＊2 表示の数値は、理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

高密度記録を実現する青色レーザーダイオード。

HD DVDの読み取りには、現行DVDで使用している赤色レーザーよりも短波長で、トラック間隔が短く高密度での記録が可能な青色レーザーを採用。同じ構造のディスクでも、DVD4.7GB（片面1層）の約6.2倍にあたる30GB（HD DVD-ROM片面2層）の大容量記録を実現しています。

36Mbpsの高ビットレート。

デジタルテレビ放送の転送レートは最大24Mbpsです。これに対しHD DVDは最大36.55Mbpsという高転送レートを実現しているので、高精細な画質で楽しむことができます。

HD DVDのメディアについて

HD DVDのメディアには、下記のようにCD／DVDと同様に読み取り専用型と記録型の規格があります。
ただし、この製品では使えないメディアもありますので、本書「3 CDやDVD、HD DVDを使う」、「9 メディアについて」の内容をよくご確認のうえ、ご使用ください。

HD DVDビデオディスク ：映像再生用です。映画などが収録されています。
HD DVD-ROM ：読み取り専用のメディアです。
HD DVD-R ：1回だけ書き込みが出来る記録型のメディアです。
HD DVD-RW ：繰り返して書き込みや消去が出来るAV用途向け記録型のメディアです。
HD DVD-RAM ：繰り返して書き込みや消去が出来るPC用途向け記録型のメディアです。

- メディアの構造と記録容量

記録面	記録層の構造	記録容量
片面1層ディスク	HD DVDの記録層のみ	15GB
片面2層ディスク	HD DVDの記録層のみ	30GB
両面2層ディスク	HD DVDの記録層のみ	30GB
両面4層ディスク	HD DVDの記録層のみ	60GB

HD DVD（ツインフォーマットディスク）：HD DVDとDVDの両方の記録層を持っています。

- メディアの構造と記録容量

記録面	記録層の構造	記録容量
片面2層ディスク	HD DVDの記録層	15GB
	DVDの記録層	4.7GB

3 CDやDVD、HD DVDを使う
－ドライブ－

＊『いろいろな機能を使おう 1章 4 CDやDVDを使う』を、次の内容に読み換えてください。

本製品には、HD DVD-Rドライブが内蔵されています。

ドライブには次のマークが入っています。

＊ マークの位置や並び順は異なる場合があります。

HD DVD-R＊1、DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R＊2、DVD+RW、DVD+R＊3、CD-RW、CD-Rの読み出し／書き込み機能を搭載したドライブです。

＊1 本書では、「HD DVD-R」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、HD DVD-R DL（HD DVD-R Dual Layer）を含みます。

＊2 本書では、「DVD-R」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、DVD-R DL（Dual Layer DVD-R）を含みます。

＊3 本書では、「DVD+R」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、DVD+R DL（DVD+R Double Layer）を含みます。

『安心してお使いいただくために』に、CD／DVD／HD DVDを使用するときに守ってほしいことが記述されています。
CD／DVD／HD DVDを使用する場合は、あらかじめその記述をよく読んで、必ず指示を守ってください。
HD DVD-Rドライブ、HD DVDメディアについては、『安心してお使いいただくために』に記述されているDVDドライブ、DVDメディアについてと同様です。

CD／DVD／HD DVDの取り扱いとお手入れについては『準備しよう 6章 2 日常の取り扱いとお手入れ』を確認してください。HD DVDについてはCD／DVDの説明と同様です。

お願い 地上デジタル放送について

- 地上デジタル放送は、CD／DVD／HD DVDメディアには、直接録画できません。また、地上デジタル放送の録画データは、「Qosmio AV Center」のムーブ機能でDVD-RAM、HD DVD-Rにデータを移動する場合を除き、バックアップをとることができません。

参照 詳細について『映像と音楽を楽しもう』

メモ

- Labelflash（レーベルフラッシュ）機能には対応しておりません。

1 使えるメディアを確認しよう

使用するメディアによっては、読み出しができない場合があります。

■HD DVD-Rドライブ

○：使用できる　×：使用できない

	読み出し＊1	書き込み回数
CD-ROM	○	×
CD-R	○	1回
CD-RW	○	繰り返し書き換え可能＊2
DVD-ROM	○	×
DVD-R＊4	○＊3	1回
DVD-RW	○	繰り返し書き換え可能＊2
DVD+R	○＊3	1回
DVD+RW	○	繰り返し書き換え可能＊2
DVD-RAM	○	繰り返し書き換え可能＊2
HD DVD-ROM	○	×
HD DVD-R	○	1回＊5

＊1 対応フォーマットによっては再生ソフトが必要な場合があります。
＊2 実際に書き換えできる回数は、メディアの状態や書き込み方法により異なります。
＊3 メディアの状態や書き込み方法により、読み出しできない場合があります。
＊4 DVD-R DLの場合、追記データの書き込み／読み出しはできません。
＊5 HD DVD-R DLの場合、追記データの書き込み／読み出しはできません。

使用できるCD／DVD／HD DVDの詳細と、書き込み速度については、「9 メディアについて」と『dynabook Qosmio G40シリーズをお使いのかたへ』を確認してください。

メモ

- メディアにデータを書き込むとき、メディアの状態やデータの内容、またはパソコンの使用環境によって、実行速度は異なります。

使用できるアプリケーション

読み出し／書き込みに使用できる、本製品に添付のアプリケーションは次のとおりです。

■HD DVDビデオディスク、HD DVD-R（HDVRモード）ディスクを再生する

● TOSHIBA（トウシバ） HD DVD（エイチディーディーブイディー） PLAYER（プレーヤ）

参照 詳細について「4 HD DVDを見る」

■DVD-Videoを再生する

● TOSHIBA（トウシバ） HD DVD（エイチディーディーブイディー） PLAYER（プレーヤ）

使いかたは、DVDスーパーマルチドライブモデルの「TOSHIBA DVD PLAYER」と同様です。

参照 『映像と音楽を楽しもう 4章 1 DVDの映画や映像を見る』

■音楽CDを再生する

● RoomStylePlayer（ルームスタイルプレーヤー）
● BeatJam（ビートジャム） for（フォー） TOSHIBA（トウシバ）

使いかたは、DVDスーパーマルチドライブモデルと同様です。

参照 『映像と音楽を楽しもう 4章 2 音楽を聴く』

■CD／DVD／HD DVDを作る

● TOSHIBA（トウシバ） Disc（ディスク） Creator（クリエイタ）

CD／DVDの場合は、DVDスーパーマルチドライブモデルと同様です。

参照 『映像と音楽を楽しもう 4章 3 オリジナル音楽CDを作る』
『映像と音楽を楽しもう 4章 5-2 写真のデータをCD／DVDにコピーする』
『準備しよう 4章 2-3 CD／DVDにデータのバックアップをとる』
《おたすけナビ - 使いこなしガイド - パソコンの設定》

HD DVDの場合は、「6 データをHD DVDにコピーする」を確認してください。

■映像を編集してDVD／HD DVDに残す、DVDに直接録画する

● Ulead（ユーリード） DVD（ディーブイディー） MovieWriter（ムービーライタ） for（フォー） TOSHIBA（トウシバ）

DVDの場合は、DVDスーパーマルチドライブモデルと同様です。

参照 『映像と音楽を楽しもう 3章 1 映像を編集してDVDに残す』
『映像と音楽を楽しもう 3章 2 DVDに直接録画する』
「DVD MovieWriter」のヘルプ

HD DVDの場合は、「5 映像をHD DVDに移す／残す」を確認してください。

■録画した映像をDVD／HD DVDに移動する

- Qosmio AV Center
  DVDの場合は、移動先のメディアの種類を選択する画面で、［DVD-RAM］を選択してください。以降の操作はDVDスーパーマルチドライブモデルと同様です。

  参照 『映像と音楽を楽しもう 2章 4 録画した地上デジタル放送の映像をDVDに移す』
  「Qosmio AV Center」のヘルプ

  HD DVDの場合は、「5 映像をHD DVDに移す／残す」を確認してください。

■リカバリディスクを作る

- TOSHIBA Recovery Disc Creator
  使いかたは、DVDスーパーマルチドライブモデルと同様です。

  参照 『準備しよう 4章 3 リカバリディスクを作る』

■ドライブの動作音を小さくする

- CD/DVD静音ユーティリティ
  使いかたは、DVDスーパーマルチドライブモデルと同様です。

  参照 《おたすけナビ - 使いこなしガイド - パソコンの設定》

2 CD／DVD／HD DVDを使うとき（セット）

CD／DVD／HD DVDは、パソコン本体に装備されているドライブにセットして使用します。

お願い 操作にあたって

- あらかじめ、「8 - 1 CD／DVD／HD DVDについて」と「9 メディアについて」を確認してください。

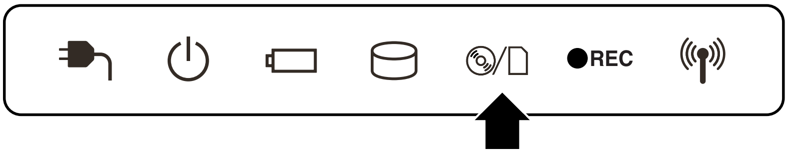
メモ セットする前に確認しよう

- 傷ついたり汚れのひどいCD／DVD／HD DVDの場合は、挿入してから再生が開始されるまで、時間がかかる場合があります。汚れや傷がひどいと、正常に再生できない場合もあります。汚れをふきとってから再生してください。
- CD／DVD／HD DVDの特性やCD／DVD／HD DVDへの書き込み時の特性によって、読み出せない場合もあります。
- メディアの種類によっては、取り出すときWindows Vistaが自動的にセッションを閉じてしまう場合があります。このとき、確認のメッセージなどは表示されません。
  よく確認してからメディアをセットしてください。
  このWindows Vistaの機能を無効にするには、次のように操作してください。
  ① ［スタート］ボタン（ ）→［コンピュータ］をクリックする
  ② ドライブのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックする
  ドライブのプロパティ画面が表示されます。
  ③ ［書き込み］タブで［共通の設定］ボタンをクリックする
  ④ ［共通の設定］画面で［ディスクの取り出し時のUDFセッションを自動的に閉じる］のチェックをはずし、［OK］ボタンをクリックする

ドライブに関する表示

パソコンの電源が入っていて、ドライブが動作しているときは、次のLEDが点灯します。

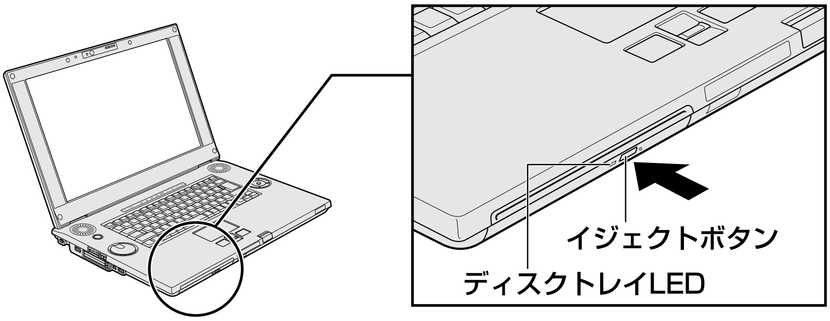
- メディアアクセス LED



- ディスクトレイLED
「本項」の手順 2 を確認してください。

1 パソコン本体の電源を入れる

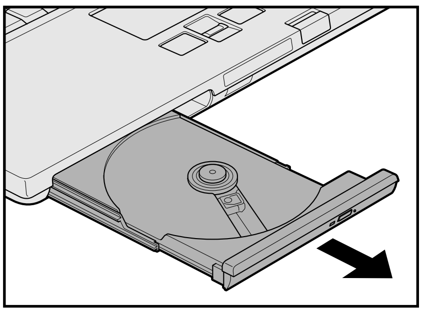
2 イジェクトボタンを押す



イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。

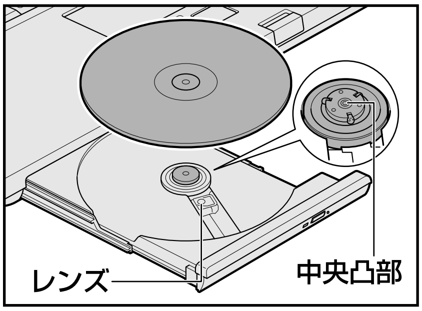
※ 購入したモデルによってイジェクトボタンの位置は異なります。

3 ディスクトレイを引き出す



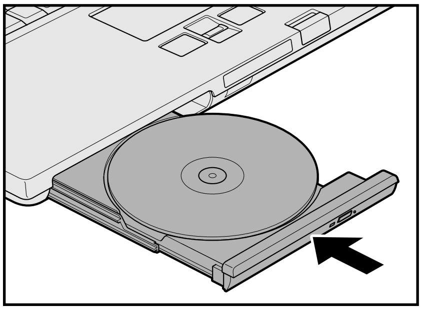
CD／DVD／HD DVDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4 **文字が書いてある面を上にして、CD／DVD／HD DVDの穴の部分をディスクトレイの中央凸部に合わせ、上から押さえてセットする**



「カチッ」と音がして、セットされたことを確認してください。

5 **「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す**



CD／DVD／HD DVDをセットすると、再生するアプリケーションや操作を選択する画面が表示されます。

3 CD／DVD／HD DVDを使い終わったとき（取り出し）

イジェクトボタンを使う場合

1 **パソコン本体の電源が入っているか確認する**

電源が入っていない場合は電源を入れてください。

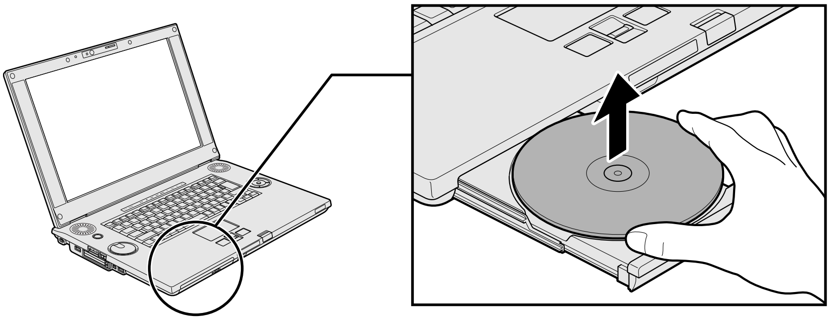
2 **イジェクトボタンを押す**

ディスクトレイが少し出てきます。

3 **ディスクトレイを引き出す**

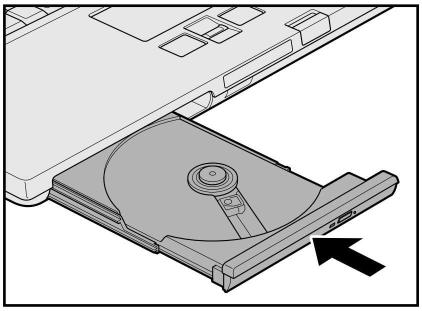
CD／DVD／HD DVDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

4 CD／DVD／HD DVDの両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す



CD／DVD／HD DVDを取り出しにくいときは、中央凸部を少し押してください。簡単に取り出せるようになります。

5 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



リモコンを使う場合

次の場合に、リモコンの［取り出し］ボタンを押すと、CD／DVD／HD DVDを取り出すことができます。

- Windows動作中
- 電源が入っていない状態
- 休止状態

1 リモコンの［取り出し］ボタンを押す

ディスクトレイが少し出てきます。
以降の操作は、「本項 イジェクトボタンを使う場合」の手順 3 に進んでください。

CD／DVD／HD DVDが出てこない場合

電源が入っていないときは、イジェクトボタンを押してもCD／DVD／HD DVDは出てきません。電源を入れてから、イジェクトボタンを押し、CD／DVD／HD DVDを取り出してください。

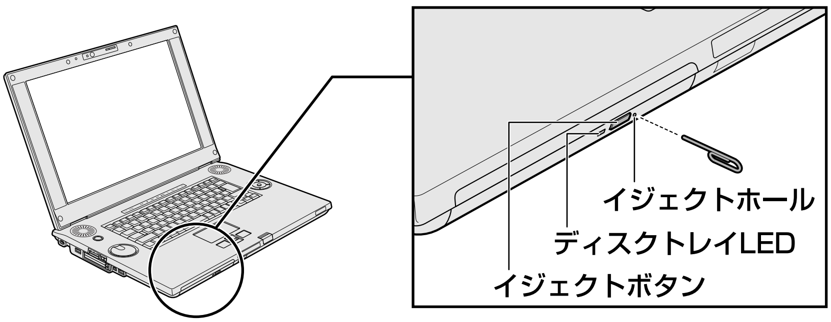
次の場合は、電源が入っていても、イジェクトボタンまたはリモコンの［取り出し］ボタンを押した後すぐにCD／DVD／HD DVDは出てきません。

- 電源を入れた直後
- ディスクトレイを閉じた直後
- 再起動した直後
- ドライブ関係のLEDが点灯しているとき
- スリープ状態のとき

上記以外でCD／DVD／HD DVDが出てこない場合は、次のように操作してください。

- **Windows動作中の場合**
  CD／DVD／HD DVDを使用しているアプリケーションをすべて終了してから、イジェクトボタンまたはリモコンの［取り出し］ボタンを押してください。

- **パソコン本体の電源が入らない場合**
  ※購入したモデルによってイジェクトボタン、イジェクトホール、ディスクトレイLEDの位置は異なります。



電源が入らない場合は、イジェクトホールを、先の細い丈夫なもの（クリップを伸ばしたものなど）で押してください。

参照 CD／DVD／HD DVDが取り出せない場合
「7 Q&A集 - Q イジェクトボタンを押してもCD／DVD／HD DVDが取り出せない」

4 HD DVDを見る

本製品では、HD DVD再生ソフトウェアとして、「TOSHIBA（トウシバ） HD（エイチディー） DVD（ディーブイディー） PLAYER（プレーヤ）」が用意されています。
ドライブにHD DVDをセットして、迫力ある映像を楽しむことができます。

お願い ご使用にあたって

- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を使用する前に、「8-2 HD DVD再生機能について」と「8-3 HD DVDの再生にあたって」をよくお読みください。

■「TOSHIBA HD DVD PLAYER」で再生できるHD DVD

「TOSHIBA HD DVD PLAYER」で再生できるHD DVDは次のとおりです。

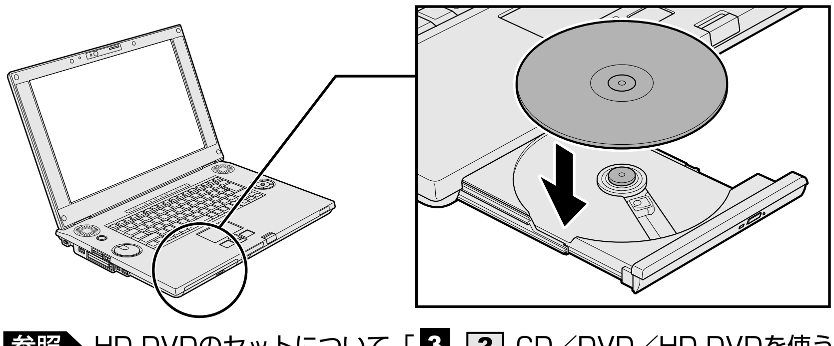
- HD DVDビデオディスク
- HD DVD-R（HDVRモード）ディスク

本節では、「HD DVD」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、これらのHD DVDを示します。

1 TOSHIBA HD DVD PLAYERを起動する

「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を起動する方法は、次のとおりです。

1 Windowsが起動している状態で、ドライブにHD DVDをセットする



参照 HD DVDのセットについて「3-2 CD／DVD／HD DVDを使うとき（セット）」

役立つ操作集

アプリケーションを選択する画面が表示された場合は

HD DVDビデオディスクをセットしたとき、アプリケーションを選択する画面が表示される場合があります。



（表示例）

［HD DVDムービーの再生］をクリックすると「TOSHIBA HD DVD PLAYER」が起動します。

ディスク内のファイルの一覧画面が表示された場合は

HD DVD-R（HDVRモード）ディスクをセットすると、ディスク内のファイルの一覧画面が表示されます。
画面の［閉じる］ボタン（ X ）をクリックしてください。

2 リモコンの［HOME］ボタンを押す



「Qosmio AV Center」が起動します。

4

HD DVDを見る

3 リモコンの方向ボタンで、[CD／DVD／HD DVD] を選択し、[決定] ボタンを押す





「TOSHIBA HD DVD PLAYER」が起動します。

メモ

- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」は、[スタート] ボタン（ ）→ [すべてのプログラム] → [TOSHIBA HD DVD PLAYER] → [TOSHIBA HD DVD PLAYER] をクリックしても起動できます。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」は、手順 1 の後でリモコンの [CD/DVD] ボタンを押して起動することもできます。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」は、手順 1 の後でフロントオペレーションパネルの [CD/DVD] ボタンを押して起動することもできます。

2 TOSHIBA HD DVD PLAYERを使う

お願い 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」の使用にあたって

- HD DVDの規格にはAボタン、Bボタン、Cボタン、Dボタンが定義されております。
  ソフトによって、「Aボタンを押してください」などのようなメッセージが表示された場合、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」では、リモコンの次のボタンまたはキーボードの次のキーを押してください。
  Aボタン ：リモコンのAボタン／キーボードのAキー
  Bボタン ：リモコンのBボタン／キーボードのBキー
  Cボタン ：リモコンのCボタン／キーボードのCキー
  Dボタン ：リモコンのDボタン／キーボードのDキー
- 再生するHD DVDやシーンによっては、画面の表示や使用できる機能が一部異なる場合があります。
- 操作ボタン（リモコンやフロントオペレーションパネルでの操作も含みます）の一部は、HD DVDが対応している場合のみ使用できます。
- コントロールウィンドウの［トップメニュー］または［メニュー］で映像表示ウィンドウに表示されたメニューは、タッチパッドやマウスで操作できない場合があります。キーボードやリモコンで操作してください。

「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を起動すると、映像表示ウィンドウとその下部にコントロールウィンドウが表示されます。

設定
「設定」画面を表示します。

最大化
画面がフルスクリーンになります。

ヘルプ
ヘルプを表示します。

最小化
画面を最小化します。

閉じる
「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を終了します。



映像表示ウィンドウ
ビデオを表示します。
ダブルクリックすると、画面がフルスクリーンになります。元の大きさに戻すには、もう一度ダブルクリックしてください。

コントロールウィンドウ
HD DVDの再生は、このウィンドウのボタンで操作します。
表示されていない場合は、映像表示ウィンドウをクリックしてください。
再生の操作でおもに使用するボタンについては、「本項 1 コントロールウィンドウ」を参照してください。

4 HD DVDを見る

1 コントロールウィンドウ

HD DVD再生のときは、おもに次のボタンを使用します。
各ボタンの詳細については、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」のヘルプを確認してください。

参照 ヘルプの起動方法「本項 1 - ヘルプの起動方法」

HD DVDのタイトルによっては、ボタンが有効の表示でも、ボタンの機能が使用できない場合があります。

消音（ミュート）
クリックすると消音になります。
消音の状態でクリックすると元の音量に戻ります。

音多＊2
音声多重の音声出力を切り替えます。

カウンタ
再生中のディスクの再生時間、タイトル番号、チャプタ番号を表示します。

閉じる
「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を終了します。

コントローラを固定する
コントロールウィンドウを常に表示します。



次頁の説明を参照してください。

リターン
タイトルで指定する画面に戻ります。

トップメニュー
トップメニュー＊1またはタイトルリスト一覧＊2を表示するボタンです。

メニュー
メニュー＊1またはタイトルリスト一覧＊2を表示するボタンです。

ワンタッチリプレイ
設定した時間分だけ戻って再生します。

音量を上げる／音量を下げる
スライダーバーをドラッグして音量を調節します。

前チャプタ
前のチャプタに戻ります。

次チャプタ
次のチャプタに進みます。

ワンタッチスキップ
設定した時間分だけスキップして再生します。



取り出し
ディスクトレイを開きます。

停止

早戻し

再生

早送り

一時停止

タイトル内の再生時間の位置を表示します。

＊1 HD DVDビデオディスクの場合
＊2 HD DVD-R（HDVRモード）ディスクの場合

タイトル検索・チャプタ検索
HD DVD内のチャプタとタイトルを検索します。

アングル
アングルを切り替えます。

ツインディスク HD DVD選択 *1
HD DVD（ツインフォーマットディスク）のHD DVD層を読み出します。

音声
音声を切り替えます。



字幕
字幕を切り替えます。

ツインディスク DVD選択 *1
HD DVD（ツインフォーマットディスク）のDVD層を読み出します。

リピート
HD DVD内のチャプタやタイトルを繰り返します。

ドライブ指定
外付けのHD DVD対応ドライブを接続している場合、再生するドライブを選択できます。

＊1 HD DVD（ツインフォーマットディスク）がドライブにセットされている場合に表示されます。

ヘルプの起動方法

1 映像表示ウィンドウの［ヘルプ］ボタン（ ? ）をクリックする

メモ

- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」のヘルプは、［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA HD DVD PLAYER］→［TOSHIBA HD DVD PLAYERヘルプ］をクリックしても起動できます。

2 リモコンで操作する

付属のリモコンを使って、次のようにリモコン操作が行えます。
「TOSHIBA HD DVD PLAYER」でリモコン操作を行う場合、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を最前面に表示してご使用ください。

リモコン	TOSHIBA HD DVD PLAYER
取り出し	ディスクを取り出す
トップメニュー	トップメニュー*1または タイトルリスト一覧*2 を表示
メニュー	メニュー*1または タイトルリスト一覧*2 を表示
表示	情報表示の設定切替
CD/DVD	「TOSHIBA HD DVD PLAYER」の起動
項目選択	項目を移動
画面モード	フルスクリーン／ウィンドウ表示の切替
方向、◀、▲、▼、▶	カーソル移動 (8方向：上、下、左、右、右上、右下、左上、左下)
決定	項目を決定
頁（前）スキップ ⏮	現在のチャプタの先頭／1つ前のチャプタを再生
頁（次）スキップ ⏭	次のチャプタを再生
ワンタッチリプレイ	戻って再生
ワンタッチスキップ	スキップして再生

リモコン	TOSHIBA HD DVD PLAYER
早戻し ◀◀	映像を早戻し
再生 ▶	再生
早送り ▶▶	映像を早送り
一時停止 ⏸	映像再生を一時停止
停止 ■	映像再生を停止
消音	消音／消音取り消し
1～9、0	チャプタ選択*3 （1～9、0）
音量＋	音量上げる
音量ー	音量下げる
アングル	アングル切替
字幕	字幕切替
音声	音声切替
設定	設定画面の表示
リターン	タイトルで指定された画面に戻る
画面終了	「TOSHIBA HD DVD PLAYER」の終了
リピート	リピートON/OFF
音多	主副切り替え*2
A	HD DVDの規格で定義されているAボタン、Bボタン、Cボタン、Dボタン
B	
C	
D	

＊1 HD DVDビデオディスクの場合
＊2 HD DVD-R（HDVRモード）ディスクの場合
＊3 2桁以上のチャプタ番号を選択する場合は、数字ボタンを1つずつ押してください。例えば、「10」を選択するときは、[1]、[0] の順に押します。

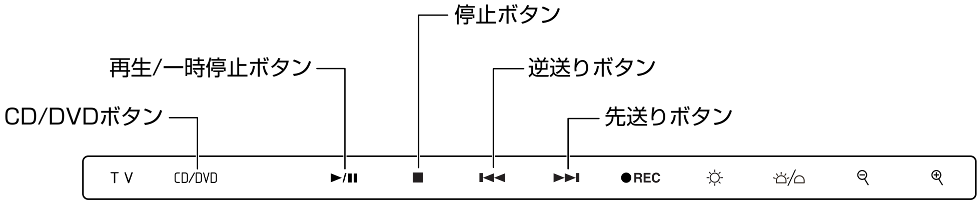
参照 リモコンのボタンについて「TOSHIBA HD DVD PLAYER」のヘルプ

メモ

- [CD/DVD] ボタンを押してパソコンを起動後に、[ロックしています] 画面のまま一定時間が過ぎてからログオンすると、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」などからメッセージが表示される場合があります。その場合は、メッセージ画面を閉じると、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」をご使用になれます。

3 フロントオペレーションパネルで操作する

フロントオペレーションパネルを使用すると簡単に操作することができます。ここでは、次のボタンについて説明します。



ボタンの操作方法

操作するボタンを、指で触れてください。ボタンに割り当てられている機能を実行します。ボタンに割り当てられている機能は「東芝ボタンサポート」で変更できます。詳しくは、《おたすけナビ - 使いこなしガイド - パソコンの設定》を参照して、設定を変更してください。

お願い 操作にあたって

- ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使わないでください。ボタンが故障するおそれがあります。

メモ

- ［CD/DVD］ボタンを触れて起動したアプリケーションが最前面に表示されない場合は、デスクトップ画面下にあるタスクバーに表示されているアプリケーションのボタンかそのアプリケーションのウィンドウのタイトルバーにタッチパッドまたはマウスのポインタを合わせてクリックし、アクティブ表示にしてください。
- ［CD/DVD］ボタンを触れてパソコンを起動後に、［ロックしています］画面のまま一定時間が過ぎてからログオンすると、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」などからメッセージが表示される場合があります。その場合は、メッセージ画面を閉じると、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」をご使用になれます。

ボタンの機能

それぞれのボタンの機能は、次のようになっています。

CD/DVDボタン	音楽や映像を再生するアプリケーションを起動します。起動するアプリケーションは、ドライブにセットされているディスクによって、次のものです。 HD DVDビデオディスク、HD DVD-R（HDVRモード）ディスク、HD DVD（ツインフォーマットディスク）、DVD-Video、DVD-VRディスクがセットされている場合： TOSHIBA HD DVD PLAYER 上記以外のディスクがセットされている、または何もセットされていない場合： RoomStylePlayer*
再生/一時停止ボタン	音楽や映像を再生、一時停止または一時停止を解除します。
停止ボタン	そのとき操作しているアプリケーションを停止します。 このボタンは、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」「RoomStylePlayer*」に対して、操作可能です。
逆送りボタン	そのとき再生している音楽や映像のトラック／チャプタを1つ前またはトラック／チャプタの先頭に戻します。 このボタンは、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」「RoomStylePlayer*」に対して、操作可能です。
先送りボタン	そのとき再生している音楽や映像のトラック／チャプタを1つ進めます。 このボタンは、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」「RoomStylePlayer*」に対して、操作可能です。

＊「RoomStylePlayer」については『映像と音楽を楽しもう』を参照してください。

フロントオペレーションパネルのTVボタン、録画ボタン、輝度ボタン、イルミネーション オン／オフボタン、文字縮小ボタン、文字拡大ボタンについては、《おたすけナビ》を確認してください。

参照 《おたすけナビ - 使いこなしガイド - パソコンの設定》

役立つ操作集

Qosmio AVコントローラで操作する

パソコン本体のQosmio AVコントローラを使って、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を操作することもできます。詳しくは、『いろいろな機能を使おう 1章 1 各部の名称』または《おたすけナビ》を参照してください。

3 テレビに接続してHD DVDを見たい

HDMI入力端子があるテレビなどの表示装置は、本製品のHDMI出力端子とケーブルで接続することで、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」の映像を表示できます。
ただし、本体液晶ディスプレイを含む、複数の表示装置での同時表示（クローン表示、デュアルビュー（DualView）表示）はできません。どちらか1つのみを表示できる設定に変更してください。

・本体液晶ディスプレイのみに表示　　・表示装置のみに表示





「TOSHIBA HD DVD PLAYER」の「映像表示ウィンドウ」をダブルクリックすると、フルスクリーンで「TOSHIBA HD DVD PLAYER」の映像を表示することができます。

お願い 操作にあたって

● あらかじめ、「8 - 3 - 表示装置・音声について」を確認してください。

「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を表示できる表示装置について

「TOSHIBA HD DVD PLAYER」は、次の表示装置で表示することができます。

○：表示できる　×：表示できない

	表示装置単体での表示	本体液晶ディスプレイとの同時表示
本体液晶ディスプレイ	○	－
テレビまたは外部ディスプレイ HDMI端子ケーブルで本製品と接続している場合	○	×
テレビ S端子ケーブルで本製品と接続している場合	×	×
外部ディスプレイ HDMI端子ケーブル以外の方法で本製品と接続している場合	×	×

表示装置をパソコンに接続する

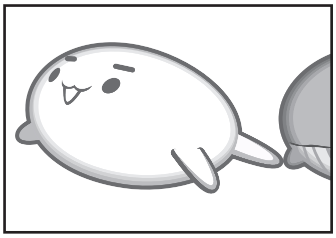
HDMI端子ケーブルで表示装置と接続する方法については、『いろいろな機能を使おう 3章 4 パソコンの画面をテレビに映す』を確認してください。

表示を切り替える

「TOSHIBA HD DVD PLAYER」の映像を表示するには、次の表示方法があります。
表示方法は、表示装置の切り替えを行うことで変更できます。

❏ 本体液晶ディスプレイだけに表示／表示装置だけに表示

いずれかの表示装置にのみ、デスクトップ画面を表示します。
テレビに表示するには次の設定を行ってください。設定を行わないと、テレビには表示されません。





❏ 方法1－コントロールパネルで設定する

設定方法は、『いろいろな機能を使おう 3章 4-2-1 方法1－コントロールパネルで設定する』の「本体液晶ディスプレイ、またはテレビだけに表示」を確認してください。

❏ 方法2－FN＋F5キーを使う

FN＋F5キーを押して、表示装置を切り替えることもできます。

参照 詳細について『いろいろな機能を使おう 3章 4-2-2 方法2－FN＋F5キーを使う』

5 映像をHD DVDに移す／残す

本製品では、HD DVD-Rに映像を書き込むことができます。

1 録画した地上デジタル放送の映像をHD DVDに移動する

地上デジタル放送を録画したデータを、HD DVD-Rに保存（移動／ムーブ）することができます。
地上デジタル放送以外の映像データをHD DVDにする方法は、「本節 2 録画したテレビ番組や映像ファイルをHD DVDにする」を参照してください。

1 録画した映像をHD DVDに移す

AACS（Advanced Access Content System）という次世代著作権保護技術に対応したHD DVD-Rにのみ、移動（ムーブ）ができます。
「Qosmio AV Center」では、地上デジタル放送の著作権が保護されたデータ（コピーワンス）を、そのままの画質でHD DVD-Rに記録します。作成したHD DVD-RはHD DVD-R（HDVRモード） TS録画になります。

お願い 移動（ムーブ）機能を実行する前に

- あらかじめ、「8 - 4 -「Qosmio AV Center」でHD DVDに移動するとき」を確認してください。

1 リモコンの［HOME］ボタンを押す



「Qosmio AV Center」が起動します。

2 マウスモードで［見るナビ］画面を表示する



［見るナビ］画面が表示されます。
［見るナビ］画面では、録画した番組の一覧が表示されています。

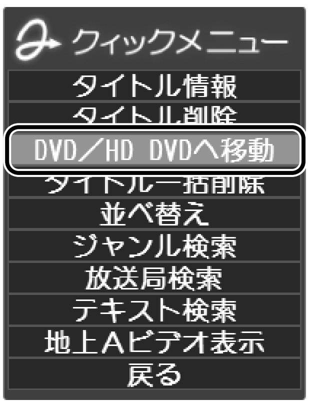
参照 ［見るナビ］画面の詳細について
「Qosmio AV Center」のヘルプ

3 ［地上D］をクリックする



「見るナビ」（ビデオ）が表示されていない場合は、（見るナビ）の［ビデオ］をクリックしてください。

4 保存したい録画番組上で右クリックし、表示されたクイックメニューから［DVD／HD HDDへ移動］をクリックする



移動先のメディアの種類を選択する画面が表示されます。

5 ［HD DVD-R］ボタンをクリックする



［本機能の説明と使用する上でのご注意］画面が表示されます。必ず画面の内容をよくお読みのうえ、［OK］をクリックしてください。

クイックメニューの［DVD／HD DVDへ移動］を実行すると、「見るナビ」から番組データが削除されます。録画データの移動（DVD／HD DVDへの書き込み作業）を開始しなかった場合は、表示は元に戻ります。

メモ

- DVD-RAMに移動する場合は、［DVD-RAM］ボタンを選択してください。DVDに移動する場合、以降の手順は、DVDスーパーマルチドライブモデルと同様です。『映像と音楽を楽しもう 2章 4-1 録画した映像をDVDに移す』を確認してください。

6 ［開始］ボタンをクリックする

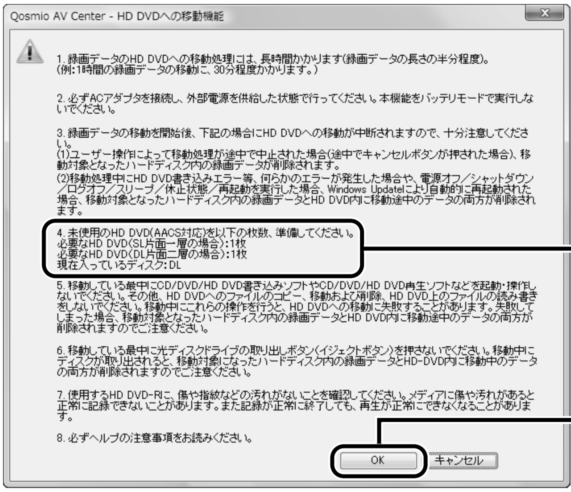


メモ

- 画面上の［ヘルプ］ボタンをクリックするとヘルプが表示され、操作の詳細を確認することができます。

7 HD DVDの枚数を確認する

表示された画面の内容をよくお読みください。



①4項を確認し、表示された枚数のHD DVDを用意する

②［OK］をクリック

8 データをHD DVDに移す

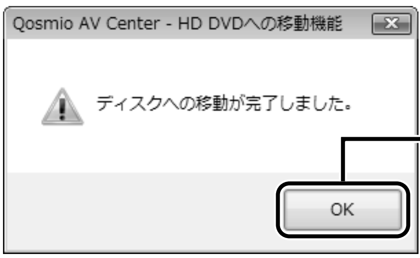
移動（ムーブ）開始の確認画面が表示されます。



①［OK］をクリック

移動中の状態を示す画面が表示されます。





②［OK］をクリック
移動が完了します。

移動（ムーブ）機能でHD DVDへ移したデータは、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」で再生してください。

2 録画したテレビ番組や映像ファイルをHD DVDにする

地上アナログ放送で録画したテレビ番組やデジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンで編集し、HD DVDに残すことができます。
映像を編集してHD DVDに残すには、「DVD MovieWriter」を使います。
「DVD MovieWriter」では、地上デジタル放送の番組を、HD DVDメディアなどへ直接書き込んだり、コピー・移動したりすることはできません。
地上デジタル放送の録画データをHD DVDに移動する方法は、「本節 1 録画した地上デジタル放送の映像をHD DVDに移動する」を参照してください。

お願い　操作を実行する前に

- あらかじめ、「8-4-「Ulead DVD MovieWriter」でHD DVDに残すとき」を確認してください。

作成方法は、DVDスーパーマルチドライブモデルでDVDに残す場合と同様です。
作成するディスクの種類を選択する画面では、［HD DVDを作成］を選択してください。



以降の操作は、DVDに残す場合の説明を参照する、または、「DVD MovieWriter」のヘルプを確認してください。

参照 DVDに残す場合
『映像と音楽を楽しもう 3章 1-2 録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする』

参照 「DVD MovieWriter」のヘルプの起動方法とお問い合わせ先
『映像と音楽を楽しもう 3章 1-1 DVDを作成する準備』

作成したHD DVDは、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」で再生してください。

6 データをHD DVDにコピーする

本製品では、「TOSHIBA Disc Creator」を使用して、HD DVD-Rにデータをコピーする（書き込む）ことができます。
HD DVD-Rにデータをコピーする方法や、コピーする際に気をつけていただきたいことは、DVDスーパーマルチドライブモデルでCD／DVDに書き込む場合と同様です。
『準備しよう』で、CD／DVDに書き込む場合について説明していますので、HD DVD-Rに書き込む場合も、その説明をよくお読みになってから行ってください。

参照 『準備しよう 4章 2-3 CD／DVDにデータのバックアップをとる』

また、「TOSHIBA Disc Creator」のヘルプもあわせて確認してください。

ヘルプの起動方法

1 ［スタート］ボタン（ ）→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA］→［CD&DVDアプリケーション］→［Disc Creator ヘルプ］をクリックする

7 Q&A集

＊《おたすけナビ - よくあるしつもん - Q&A - CD／DVD》を、次の内容に読み換えてください。

Q CD／DVD／HD DVDにアクセスできない

A ディスクトレイがきちんとしまっていない場合は、カチッと音がするまで押し込んでください。

参照 CD／DVD／HD DVDのセット「3-2 CD／DVD／HD DVDを使うとき（セット）」

A CD／DVD／HD DVDがきちんとセットされていない場合は、ラベルの面を上にして、水平にセットしてください。

A ディスクトレイ内に異物がある場合は、取り除いてください。

何かはさまっていると、故障の原因になります。

A CD／DVD／HD DVDが汚れている場合は、乾燥した清潔な布でふいてください。

それでも汚れが落ちなければ、水または中性洗剤で湿らせた布でふき取ってください。

参照 CD／DVD／HD DVDのお手入れ
『準備しよう 6章 2 日常の取り扱いとお手入れ』
（HD DVDについてはCD／DVDの説明と同様です）

A CD／DVD／HD DVDを認識していない可能性があります。

メディアアクセスLED、ディスクトレイLEDが点滅している間は、まだ認識されていません。
消灯するまで待って、もう1度アクセスしてください。

Q メディアアクセスLEDが点灯したままになっている

A 大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。

LEDが消えるまで待ってください。
どうしても消えないときは作業を中断し、CTRL＋ALT＋DELキーを押して再起動してください。
この場合、保存されていないデータは消失します。

①CTRL＋ALT＋DELキーを押す
②画面右下にある、上向き三角印がついている［シャットダウンのオプション］ボタンをクリックする
③表示されたメニューから、［再起動］をクリックする
再起動します。

再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上押し、電源を切ってから、もう1度電源を入れてください。この場合、保存されていないデータは消失します。
再起動後、同じ操作を行っても、LEDが消えない場合は、電源を切り、保守サービスに連絡してください。

Q CD／DVDをセットしても自動的に起動しない

A 自動起動に対応しているCD／DVDでも、自動的に起動しない場合があります。

起動しているすべてのアプリケーションを終了し、CD／DVDをセットし直してください。
それでも起動しない場合は次の手順で起動できます。

① [スタート] ボタン（ ）→ [コンピュータ] をクリックする
② ドライブのアイコンをダブルクリックする

A 自動起動に対応していないCD／DVDを挿入している可能性があります。

自動起動に対応していないCD／DVDの場合は、自動起動できません。
『CD／DVDに付属の説明書』などで確認してください。

Q 正しく動作するCD／DVDもあるが、動作しないCD／DVDもある

A 使用環境の設定が必要なCD／DVDを使用している可能性があります。

各CD／DVDによって異なる使用環境を設定しなければならない場合があります。
『CD／DVDに付属の説明書』を読んで、それぞれのCD／DVDに合った環境を設定してください。

A 読み取れないメディアをセットしている可能性があります。

そのメディアの特性や書き込み時の特性により、読み取れないものもあります。

Q DVD-R、DVD+Rにデータを追記し、他のパソコンやドライブで読もうとしたら読み出せない

A OSやドライブの制限により、記録されているすべての内容を読み出せないことがあります。

また、DVD-ROMドライブ、DVD-ROM&CD-R/RWドライブの種類によっては、追記したデータを読むことができないものがあります。

Q 再生中の動画がとぎれる 動画がなめらかに再生されない

A HD DVDビデオディスク、HD DVD-R（HDVRモード）ディスクの再生には、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を使用してください。

「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してHD DVDビデオディスク、HD DVD-R（HDVRモード）ディスクの再生はできません。

参照 専用のアプリケーションについて「4 HD DVDを見る」

A HD DVD再生時は、必ずACアダプタを接続してください。

省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。

A 使用するHD DVDのタイトルによっては、コマ落ち、音飛びおよび映像と音声の同期ずれが発生する場合があります。

A DVD-Videoの再生には、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を使用してください。

「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。このようなときは、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を起動し、DVD-Videoを再生してください。

A DVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。

省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。
バッテリ駆動で再生するときは「電源オプション」の電源プランで「バランス」を選択してください。
また、使用するDVDディスクのタイトルによってはコマ落ちする場合があります。

A CD-ROM、DVD-Video、HD DVDビデオディスク、HD DVD-R（HDVRモード）ディスクからデータを読み込んでいる可能性があります。

CD-ROM、DVD-Video、HD DVDビデオディスク、HD DVD-R（HDVRモード）ディスクからデータを読み込んでいるときは、再生が止まる場合があります。

A 動画の再生中に、他のアプリケーションを実行していないか確認してください。

複数のアプリケーションを同時に使うと、動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなります。他のアプリケーションを終了してください。

A 動画の再生中にウィンドウの大きさや位置を変更すると、音飛びや画像の乱れの原因になります。

Q イジェクトボタンを押してもCD／DVD／HD DVDが出てこない

A パソコン本体の電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもCD／DVD／HD DVDは出てきません。

電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。

参照 CD／DVD／HD DVDの取り出し
「3-3 CD／DVD／HD DVDを使い終わったとき（取り出し）」

A パソコン本体の電源が入っている場合は、CD／DVD／HD DVDを使用しているアプリケーションをすべて終了してください。

終了後、イジェクトボタンを押してください。

A CD／DVD／HD DVDを使用しているアプリケーションをすべて終了していても、CD／DVD／HD DVDが取り出せない場合は、パソコンを再起動してください。

再起動後、イジェクトボタンを押してください。

A 電源が入らない場合、イジェクトホールを使って、CD／DVD／HD DVDを取り出してください。

イジェクトホールは、折れにくいもの（例えばクリップを伸ばしたものなど）で押してください。折れた破片がパソコン内部に入ると、故障の原因になります。電源が入らないとき以外はこの処置をしないでください。特に、パソコンの動作中は絶対にしないでください。

参照 イジェクトホール「3-3-CD／DVD／HD DVDが出てこない場合」

以上の手順でも解決できない場合は、保守サービスに依頼してください。

Q DVD-Video／HD DVDビデオディスクをドライブにセットしたときに、自動再生の画面が表示されない

A 次の手順で設定を変更してください。

① [スタート] ボタン（ ）→ [コントロールパネル] をクリックする
② [CDまたは他のメディアの自動再生] をクリックする
③次の項目で、[毎回動作を確認する] を選択する
DVD-Videoの場合 : [DVDムービー]
HD DVDビデオディスクの場合 : [HD DVDムービー]
④ [保存] ボタンをクリックする

参照 DVD-Videoの再生について
『映像と音楽を楽しもう 4章 1 DVDの映画や映像を見る』

7 Q&A集

8 ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。
次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。

1 CD／DVD／HD DVDについて

操作にあたって

- メディアアクセス ◎/▯ LED、ディスクトレイLEDが点灯しているときは、イジェクトボタンを押したり、CD／DVD／HD DVDを取り出す操作をしないでください。CD／DVD／HD DVDが傷ついたり、ドライブが壊れるおそれがあります。
- パソコン本体を持ち運ぶときは、ドライブにCD／DVD／HD DVDが入っていないことを確認してください。
  入っている場合は取り出してください。
- ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。ドライブの故障の原因になります。
- 電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中のCD／DVD／HD DVDのデータやドライブが壊れるおそれがあります。

参照 イジェクトホールについて「3 - 3 - CD／DVD／HD DVDが出てこない場合」

- ドライブのトレイを開けたときに、CD／DVD／HD DVDが回転している場合には、停止するまでCD／DVD／HD DVDに手を触れないでください。ケガのおそれがあります。
- CD／DVD／HD DVDをディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- CD／DVD／HD DVDを正しくディスクトレイにセットしないとCD／DVD／HD DVDを傷つけることがあります。
- 本製品では、8cm、12cmのCD／DVDと、12cmのHD DVDのみ使用できます。これら以外のCD／DVD／HD DVDは使用できません。

2 HD DVD再生機能について

- HD DVDは新技術を利用した新規格です。ディスク、その他のデジタル機器との接続、その他の互換性、動作に何らかの問題が生じる可能性があります。HD DVD-ROMロゴは、ドライブがHD DVDの物理規格に対応していることを表すものであり、HD DVDビデオの規格に対応していることを表すものではありません。本機は、DVDフォーラムの規格の定めるHD DVDのビデオ規格のアドバンスト機能のうち、ピクチャーインピクチャー等の機能には対応しておりません。HD DVDのコンテンツによっては、画面の動きがスムーズでなくなる場合や、パフォーマンスが落ちる場合があります。
- 本機のHD DVD再生機能は次世代著作権保護技術AACS（Advanced Access Content System）に対応しています。AACSキーは定期的に更新が必要です。AACSキーを更新しないと、AACSで保護されたHD DVDコンテンツを再生することはできません。

なお、更新は無償で行えます。更新の際にはインターネット接続が必要です。
DVDコンテンツやAACSで保護されていないHD DVDコンテンツは、AACSキーの更新をしなくても再生が可能です。

- HD DVD再生機能はコンテンツ内蔵のプログラムに従って作動しますので、コンテンツによって、操作方法、操作時の画面、効果音、アイコンなどの機能・動作は、それぞれ異なる場合があります。これらの詳細は、コンテンツに添付されている取扱説明書を参照されるか、発売メーカーに直接お問い合わせください。

3 HD DVDの再生にあたって

本項では、「HD DVD」と記載している場合、特に書き分けのある場合を除き、HD DVDビデオディスク、HD DVD-R（HDVRモード）ディスクを示します。

HD DVDについて

- HD DVDの再生には、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を使用してください。「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してHD DVDの再生はできません。
- HD DVDの再生を開始するまでに、時間がかかる場合があります。

使用時について

- タイトルによっては、コマ落ちや音声の音飛び、または映像と音声のずれ（同期ずれ）が発生する場合があります。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」ご利用時には、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中に他のアプリケーションを起動させるなど、他の操作は行わないでください。正常な再生ができない場合や再生が停止する場合があります。
- 再生中に、画面やアイコンなどがちらつく場合は、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」の「映像表示ウィンドウ」をフルスクリーン表示（最大表示）にしてください。
- 他のアプリケーションで映像の再生中やテレビ番組の録画中は、HD DVDを再生しないでください。HD DVDの再生およびテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- 「TOSHIBA DVD PLAYER」で映像の再生中にテレビ番組の録画が実行（予約録画も含め）されると、映像の再生に問題が生じることがあります。また、録画も正しく動作しない場合があります。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」では、再生するタイトルによってレジューム機能による再生ができない場合があります。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」ご利用時には、必ずACアダプタを接続してください。
  省電力機能が働くと、スムーズな再生ができない場合があります。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」は「電源オプション」の電源プランを「高パフォーマンス」に設定してご使用ください。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」で映像の再生中は、スクリーンセーバは起動しません。
  また自動的に休止状態、スリープやシャットダウンの状態には移行しません。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」起動中に表示自動停止機能が動作するように設定しないでください。

  参照 表示自動停止機能《おたすけナビ》

- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」の起動中はWindows Aero機能が無効となります。

表示装置・音声について

- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」は、コントロールパネルの［画面の設定］で［画面の色］が「最高（32ビット）」の場合のみ動作します。［画面の設定］は次の手順で起動できます。
  ①［スタート］ボタン→［コントロールパネル］をクリックする
  ②［デスクトップのカスタマイズ］→［個人設定］→［画面の設定］をクリックする
- 外部ディスプレイまたはテレビに「TOSHIBA HD DVD PLAYER」で再生している映像が表示されない場合は、いったんアプリケーションを終了し、コントロールパネルの［画面の設定］で解像度を変更してください。ただし、外部ディスプレイまたはテレビへの出力については、出力・再生条件によって表示できない場合があります。
- HD DVDを外部ディスプレイやテレビでご覧になるには、HDCP対応のHDMI入力端子のあるディスプレイやテレビが必要です。
- HD DVDを外部ディスプレイまたはテレビでご覧になるには、HDMI出力端子と外部ディスプレイまたはテレビをHDMI端子ケーブルで接続し、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。再生中の表示装置の切り替えはできません。
- HD DVDの映像は、本体液晶ディスプレイまたはHDMI出力端子に接続したテレビにのみ表示できます。S-Video出力コネクタに接続したテレビや、RGBコネクタに接続した外部ディスプレイには、表示させることはできません。また、本体液晶ディスプレイとの同時表示（クローン表示、デュアルビュー（DualView）表示）はできません。

参照 HDMI出力端子への接続、表示装置の切り替え
『いろいろな機能を使おう 3章 4-1- HDMI出力端子に接続する』

- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」起動中に解像度の変更を行わないでください。
- S/PDIF出力された音声の録音はできません。
- 48kHz/16bit以上の形式で収録された音声データは48kHz/16bitに変換されます。

「TOSHIBA HD DVD PLAYER」について

- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」は、HD DVDビデオディスク、HD DVD-R（HDVRモード）、DVD-VideoおよびDVD-VRディスクの再生ができます。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」では、パレンタルコントロール（視聴制限）の機能はありません。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」の起動中は著作権保護のためにWindowsの画面コピー機能が無効となります（「TOSHIBA HD DVD PLAYER」以外のアプリケーションを使用している場合や、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を最小化しているときなども無効です）。画面コピー機能をご使用になるときは、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を終了してください。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」のインストール・アンインストールをする場合は、コンピュータ管理者のユーザで行ってください。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」起動中にWindowsユーザの切り替えを行わないでください。
- タイトルによっては、コントロールウィンドウに表示されるタイトルの再生時間（再生位置）が総時間に到達する前に次のタイトルに進む場合があります。
- タイトルによっては、コントロールウィンドウで音声の切り替えを行うと、字幕も切り替わる場合があります。
- 「TOSHIBA HD DVD PLAYER」を継続して使用するには、定期的なアップデートが必要となります。

アップデート方法

「TOSHIBA HD DVD PLAYER」のアップデート情報については、弊社ホームページ「dynabook.com」の「サポート情報」でお知らせします。
URL：http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

お問い合わせ先

「TOSHIBA HD DVD PLAYER」のお問い合わせは、東芝PCあんしんサポート（巻末参照）へお願いいたします。

4 HD DVD書き込み機能について

「Qosmio AV Center」でHD DVDに移動するとき

- Windowsの自動更新で、［更新プログラムを自動的にインストールする（推奨）］を選択している場合、スケジュールされた更新の時刻に新しい更新プログラムがインストールされます。更新プログラムの内容によっては、コンピュータが再起動されますが、「Qosmio AV Center」で、地上デジタル放送の録画データをDVD／HD DVDへ移動している場合は、「Qosmio AV Center」が強制終了されてしまうため、DVD／HD DVDへの移動に失敗することがあります。
  「Qosmio AV Center」でDVD／HD DVDへの移動を行う場合には、あらかじめ自動更新によるコンピュータの再起動が行われないように、自動更新の［新しい更新プログラムのインストール］の設定時刻を変更してください。
  Windowsの自動更新の設定は、［コントロールパネル］→［セキュリティ］→［Windows Update］→［設定の変更］で行います。
- HD DVD-Rへの書き込みは、HD DVD-R（HDVRモード） TS録画になります。
  このビデオディスクは、HD DVD-Rドライブ搭載のパソコンで、「TOSHIBA HD DVD PLAYER」で再生できます。
  HD DVD-ROMドライブ搭載のパソコンでは再生できません。
  家庭用HD DVDプレーヤ／レコーダでの再生は、HD DVD-R（HDVRモード） TS録画に対応した機器で可能です。お使いの機器の仕様をご確認ください。
- 本機能は、ハードディスクに保存されている地上デジタル放送録画データ（以下、録画データ）をHD DVD（AACS対応）へ移動する機能です。HD DVDへの移動を開始した時点で、移動対象となったハードディスク内の録画データは消去されますのでご注意ください。
  また、1度HD DVDへ移動した録画データは、他のHD DVDへのコピーやハードディスクに戻すなど、更にコピー、移動することはできません。
- 録画データのHD DVDへの移動処理には、長時間かかります（録画データの長さの半分程度）。
  例：1時間の録画データの移動に、30分程度かかります。
- 必ずACアダプタを接続し、外部電源を供給した状態で行ってください。本機能をバッテリモードで実行しないでください。

- 録画データの移動を開始後、下記の場合にHD DVDへの移動が中断されますので、十分注意してください。
  - ・ユーザ操作によって移動処理が途中で中止された場合（途中でキャンセルボタンが押された場合）、移動対象となったハードディスク内の録画データが削除されます。
  - ・移動処理中にHD DVD書き込みエラーなど、何らかのエラーが発生した場合や、電源オフ／シャットダウン／ログオフ／スリープ／休止状態／再起動を実行した場合、Windows Updateにより自動的に再起動された場合は、移動対象となったハードディスク内の録画データとHD DVD内に移動途中のデータの両方が削除されます。
- ファイナライズされていないHD DVD-Rディスクへ追記することはできません。
- Windows Vistaや家庭用HD DVDビデオレコーダでフォーマットしたHD DVD-Rへ移動することはできません。
- 1枚のHD DVDに納まらない場合は、複数枚のHD DVDに連続して記録します。必要枚数のHD DVD（AACS対応）を準備してください。必要枚数は、「開始」ボタンを押した後に表示されます。
- 未使用のHD DVD-Rを使用してください。書き込み後にHD DVD-Rをファイナライズします。ファイナライズされたHD DVD-Rに、さらにデータを書き込むことはできません。
- 移動している最中にCD／DVD／HD DVD書き込みソフトやCD／DVD／HD DVD再生ソフトなどを起動・操作しないでください。その他、HD DVDへのファイルのコピー、移動および削除、HD DVD上のファイルの読み書きをしないでください。
  移動中にこれらの操作を行うと、HD DVDへの移動に失敗することがあります。失敗してしまった場合、移動対象となったハードディスク内の録画データとHD DVD内に移動途中のデータの両方が削除されますのでご注意ください。
- 使用するHD DVDに、傷や指紋などの汚れがないことを確認してください。メディアに傷や汚れがあると正常に記録できないことがあります。また、記録が正常に終了しても、再生が正常にできなくなることがあります。
- 省電力の設定がされている場合、移動に通常より時間がかかることがあります。
- 「HD DVDへの移動機能」の画面上や「HD DVDへの移動機能」のヘルプに記載されている注意事項も、必ずお読みください。

「Ulead DVD MovieWriter」でHD DVDに残すとき

- 「Ulead DVD MovieWriter」でのHD DVD-R書き込みは、-Video形式となります。
  このビデオディスクは、HD DVD-Rドライブ搭載のパソコンで、HD DVD再生ソフト「TOSHIBA HD DVD PLAYER」で再生できます。
  HD DVD-ROMドライブ搭載のパソコンでは再生できません。
  家庭用HD DVDプレーヤでの再生は、HD DVD-Rの-Video形式に対応した機器で可能です。お使いの機器の仕様をご確認ください。

9 メディアについて

CD／DVD／HD DVDメディアを使う前に、次の内容をよく読んでください。

1 使えるCDを確認しよう

CD-RW、CD-Rについて／CD-RW、CD-Rの使用推奨メーカ

- CD-RW、CD-Rに書き込む際には、『dynabook Qosmio G40シリーズをお使いのかたへ』でメディアの使用推奨メーカを確認してください。
- CD-Rに書き込んだデータの消去はできません。
- CD-RWメディアは書き換え可能なメディアですが、「TOSHIBA Disc Creator」で書き込んだファイルを変更したり、削除したりすることはできません。
  ファイルの変更・削除が必要な場合は、まずCD-RWメディアの消去を行い、改めて必要なファイルだけを書き込んでください。
- CD-RWの消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されている際には、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。
- ハードディスクに不良セクタがあると書き込みに失敗するおそれがあります。定期的に「エラーチェック」でクラスタのチェックを行うことをおすすめします。

  参照 エラーチェックの方法『Windowsヘルプとサポート』

- ドライブの構造上、メディアの傷、汚れ、ホコリ、チリなどにより読み出し／書き込みができなくなる場合があります。データなどを書き込む際は、メディアの状態をよくご確認ください。

2 使えるDVDを確認しよう

使えるDVD-RAMの種類

DVD-RAMにはいくつかの種類があります。本製品のドライブで使用できるDVD-RAMは次のとおりです。
カートリッジタイプのメディアは、カートリッジから取り出してドライブにセットしてください。両面ディスクで、読み出し／書き込みする面を変更するときは、一度ドライブからメディアを取り出し、裏返してセットし直してください。

○：使用できる　×：使用できない

DVD-RAMの種類	本製品の対応
カートリッジなし*1	○
カートリッジタイプ（取り出し不可）	×
カートリッジタイプ（取り出し可能）*2	○

＊1 一部の家庭用DVDビデオレコーダでは再生できない場合があります。
＊2 2.6GB、5.2GBのディスクは使用できません。

DVDについて／DVDの使用推奨メーカ

- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rに書き込む際には、『dynabook Qosmio G40シリーズをお使いのかたへ』でメディアの使用推奨メーカを確認してください。
- DVD-R、DVD+Rに書き込んだデータの消去はできません。
- DVD-RW、DVD+RWメディアは書き換え可能なメディアですが、「TOSHIBA Disc Creator」で書き込んだファイルを変更したり、削除したりすることはできません。
  ファイルの変更・削除が必要な場合は、まずDVD-RW、DVD+RWメディアの消去を行い、改めて必要なファイルだけを書き込んでください。
- DVD-RW、DVD+RWの消去されたデータを復元することはできません。消去の際は、メディアの内容を十分に確認してから行ってください。
- 書き込み可能なドライブが複数台接続されているときには、書き込み・消去するメディアをセットしたドライブを間違えないよう十分に注意してください。
- DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rへの書き込みでは、ファイルの管理領域なども必要になるため、メディアに記載された容量分のデータを書き込めない場合があります。
- DVD-RW、DVD-Rへの書き込みでは、DVDの規格に準拠するため、書き込むデータのサイズが約1GBに満たない場合にはダミーのデータを加えて、最小1GBのデータに編集して書き込みます。
  このため、実際に書き込もうとしたデータが少ないにもかかわらず、書き込み完了までに時間がかかることがあります。
- ハードディスクに不良セクタがあると書き込みに失敗するおそれがあります。定期的に「エラーチェック」でクラスタのチェックを行うことをおすすめします。

参照 エラーチェックの方法『Windowsヘルプとサポート』

- ドライブの構造上、メディアの傷、汚れ、ホコリ、チリなどにより読み出し／書き込みができなくなる場合があります。データなどを書き込むときは、メディアの状態をよくご確認ください。
- DVD-RAMをドライブにセットしたとき、システムがDVD-RAMを認識するまでに多少時間がかかります。

メモ

- 市販のDVD-Rには業務用メディア（for Authoring）と一般用メディア（for General）があります。業務用メディアはパソコンのドライブでは書き込めません。
  一般用メディア（for General）を使用してください。
- 市販のDVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rには「for Data」と「for Video」の2種類があります。映像を保存する場合や家庭用DVDビデオレコーダとの互換性を重視する場合は「for Video」を使用してください。
- 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できないこともあります。また、作成したDVD+R DLメディア、DVD-R DLメディアを再生するときは、それぞれのメディアの読み取りに対応している機器を使用してください。

3 使えるHD DVDを確認しよう

本製品のドライブで使用できるHD DVDは、次のメディアのみです。

■読み出しできるHD DVD

対応フォーマットによっては再生ソフトが必要な場合があります。

- HD DVDビデオディスク
  映像再生用です。映画などが収録されています。
- HD DVD-ROM（片面1層、片面2層ディスク）
- HD DVD（ツインフォーマットディスク）
  HD DVDとDVDの両方の記録層を持っています。
- HD DVD-R（片面1層、片面2層ディスク(HD DVD-R DL)）
  1回だけ書き込みが出来る記録型のメディアです。
  また、HDVRモードで書き込んだHD DVD-Rディスクの再生ができます。HDVRモードとはコピーワンスの著作権保護がかけられた地上デジタル放送などのテレビ放送を記録するのに適しています。

■書き込みできるHD DVD

- HD DVD-R（片面1層、片面2層ディスク(HD DVD-R DL)）
  1回だけ書き込みが出来る記録型のメディアです。

HD DVDメディアの推奨メーカ

- HD DVD-Rに書き込む際には、『dynabook Qosmio G40シリーズをお使いのかたへ』でメディアの推奨メーカを確認してください。

4 記録メディアの廃棄・譲渡について

記録メディア（フロッピーディスク、半導体メモリ、CD、DVD、HD DVDなど）を廃棄・譲渡する際には、書き込まれたデータが流出しないよう、適切な方法で消去することをおすすめします。
初期化、削除、消去などの操作などを行っても、データの復元ツールで再生できる場合もありますので、十分ご確認ください。
データ消去のための専用ソフトや、メディア専用のシュレッダーも販売されています。

TOSHIBA HD DVD-Rドライブ SD-L902A
（HD DVD-Rドライブ）
安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠注 意

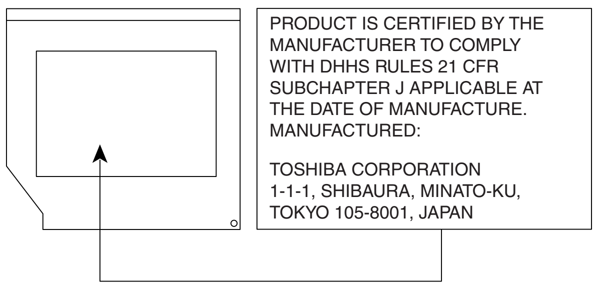
1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格EN60825で“クラス１レーザー機器”に分類されています。
レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
APPAREIL À LASER DE CLASSE 1
LASER KLASSE 1 PRODUKT
クラス１レーザー製品
TO EN 60825-1:1994 / A2:2001
or IEC 60825-1:1993 / A2:2001

2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。
信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

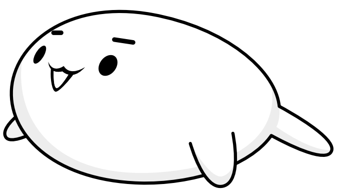
DANGER -VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID DIRECT EXPOSURE TO BEAM. (for 21 CFR)
CAUTION -CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.
ATTENTION -LASER DE CLASSE 3B RAYONNEMENT VISIBLE ET INVISIBLE, EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE DE L'OEIL OU DE LA PEAU RAYONNEMENT DIRECT OU DIFFUS.
VORSICHT -SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG KLASSE 3B, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL -KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDSÆTTELSE FOR STRÅLING
ADVARSEL -KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARO! -LUOKAN 3B NÄKYVÄÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.
VARNING -SYNLIG OCH OSYNLIG KLASSE 3B LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLE ÄR FARLIG.
注意 -打开时有3B等级的可见及不可见激光辐射。避免激光束照射。
注意 -ここを開くとクラス3B可視レーザー光及び不可視レーザー光が出ます。ビームに身をさらさないこと。

Location of the required label



さくいん

MEMO



東芝PCあんしんサポート

技術的なご質問、お問い合わせ、修理のご依頼をお受けいたします。

全国共通電話番号 **0120-97-1048**（通話料･電話サポート料無料）

おかけいただくと、アナウンスが流れます。
アナウンスに従ってご希望の窓口に該当する番号をプッシュしてください。

電話番号は、お間違えのないよう、ご確認の上おかけください。
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

技術相談窓口受付時間：9：00～19：00（年中無休）
修理相談窓口受付時間：9：00～22：00（年末年始12/31～1/3を除く）

インターネットもご利用ください。

▼お問い合わせの多い質問をインターネットでご紹介「よくあるご質問FAQ」

http://dynabook.com/assistpc/index_ j.htm

▼専用フォームからお問い合わせ「東芝PCオンライン」

よくあるご質問FAQで問題が解決しないときはアンケートにお答えいただき、専用フォームから文書でお問い合わせください。※ご利用にはお客様登録が必要です。

▼インターネットで修理のお申し込み

http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/i_repair.htm

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。
日程は、dynabook.com「サポート情報」→「東芝PCあんしんサポート」（http://dynabook.com/assistpc/anshin/index_j.htm）上にてお知らせいたします。

お問い合わせの詳細につきましては、『東芝PCサポートのご案内』をご参照ください。

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

dynabook Qosmio HD DVDを楽しもう

平成19年4月13日　第1版発行　GX1C000J9110

発行　株式会社東芝 PC&ネットワーク社

PC第一事業部　〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

この取扱説明書は植物性大豆油インキを使用しております。
この取扱説明書は再生紙を使用しております。

東芝PC総合情報サイト
http://dynabook.com/

株式会社 東芝 PC&ネットワーク社

PC第一事業部 〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

GX1C000J9110
Printed in China